

さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと

第66号

国登録有形文化財(建造物)の新規登録について

平成29年7月21日に開催された国の文化審議会は、さいたま市内に所在する3件の建造物を、登録有形文化財として新たに登録するよう、文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、市内の登録有形文化財(建造物)は計13件となる予定です。



うちきしゅぞうてんぼけんしゅおく
▲内木酒造店舗兼主屋



うちきしゅぞうはな
▲内木酒造離れ



かとうけしゅたくしゅおく
▲加藤家住宅主屋

●登録有形文化財

種 別	名 称	員数	所 在 地	所有者
登録有形文化財 (建造物)	内木酒造店舗兼主屋	1棟	さいたま市桜区西堀	個人
	内木酒造離れ	1棟		
	加藤家住宅主屋	1棟	さいたま市岩槻区古ヶ場	個人

登録有形文化財(建造物) うち き しゅ ぞう てん ぼ けん しゅ お く
内木酒造店舗兼主屋

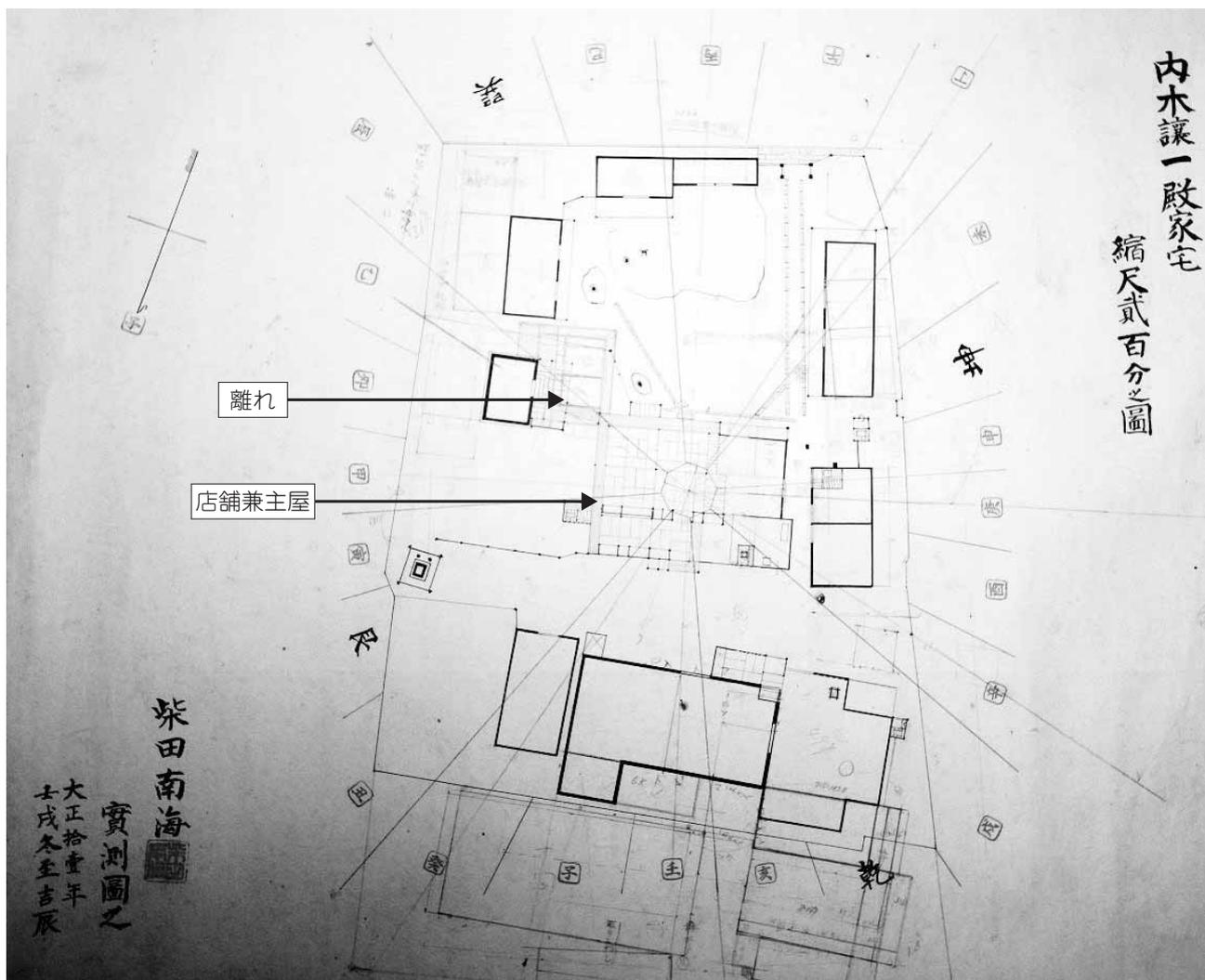
内木酒造は、安永4年(1775)創業で、さいたま市内最古の酒蔵とされます。

敷地には、店舗兼主屋、離れ、土蔵、新宅、屋敷神、物置、倉庫のほか、酒造場としての酒蔵群があります。店舗兼主屋は、敷地中央に南を正面にして建てられています。

建築年は、口伝により明治6年(1873)とされます。木造2階建、よせむねづくり寄棟造、さんがわらぶき棧瓦葺の建物で、げ や び さ し下屋庇を廻らせ、正面には玄関を張り出しています。内部は3室×2列の6室構成で、西半分を土間とし、奥の間にはつけしょいん付書院を設けています。重厚な構えを持つ、明治初期の商家です。



▲正面に張り出した旧玄関

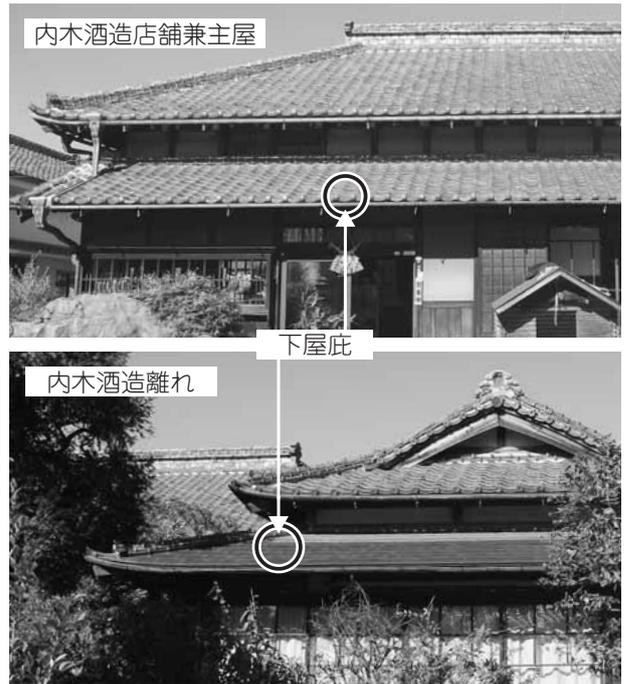


▲大正11年(1922)の家相図 ※南が上、北が下になっています。

登録有形文化財(建造物) うち き しゅ ぞう はな 内木酒造離れ

離れは、店舗兼主屋の南東に接続しています。大正11年(1922)の家相図が残っており、離れが朱書きで追記されているため、大正後期以降の建築であることがわかります。

木造平屋建、入母屋造、いりも やづくり 棧瓦葺です。銅板の下屋庇を廻らせ、瓦庇を廻らせた主屋と意匠を揃えています。内部は6畳と8畳の2室で、その南西側にL字型の縁を廻らせています。8畳には平書院が設けられており、欄間の彫刻には凝った意匠が見られます。しょうしょ 瀟洒な造りの離れで、敷地内の景観を良好に形作っています。



登録有形文化財(建造物) かとう けじゅうたくしゅおく 加藤家住宅主屋

かとう けじゅうたくしゅおく 加藤家住宅主屋は、こかば くみがしら 古ヶ場村の組頭を務めた旧家とされる加藤家の住宅です。

木造2階建、寄棟造、瓦型銅板葺で、敷地中央に南を正面にして建てられています。内部は3室×2列の6室構成で、東半分を土間としています。残された資料から安政6年(1859)頃の建設と推定され、土間沿いにある「ブツマ」には、幕末の打ちこわしに備えて建て込まれたと伝わる格子戸が残っています。西の「キヤクマ」には平書院を設けています。上質な座敷を持つ大規模農家です。



▲加藤家住宅 ブツマの格子戸

登録有形文化財とは

建築後50年を経過した建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、届出制というゆるやかな規制を通じて保存活用を図っていく文化財保護の制度で、平成8年の文化財保護法改正により導入されました。東京タワーや東京大学の安田講堂なども登録有形文化財です。登録の基準としては三点あり、次のいずれかに当てはまる建造物が登録の対象となります。

- 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 二 造形の規範になっているもの
- 三 再現することが容易でないもの

今回登録された3件は、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」の基準により評価されました。

お知らせ

□国指定史跡 見沼通船堀現地説明会

再整備事業概要の説明や、見沼と見沼通船堀の仕組みなどを解説します。

日時：平成29年10月21日(土) 10時～11時

場所：見沼通船堀東縁(緑区大字大間木・下山口新田地内)

定員：40名

申込方法：平成29年10月5日(木)から電話で文化財保護課(☎829-1725)に申込(先着順)

□国指定史跡 真福寺貝塚発掘調査現地見学会

真福寺貝塚では、今後の整備に向けた発掘調査を実施しており、その成果を現地で紹介します。

日時：平成29年11月11日(土) 1回目：10時～11時30分 2回目：14時～15時30分

場所：真福寺貝塚発掘調査現場(岩槻区城南三丁目)

事前申込不要。駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

□最新出土品展 開催中 見学無料

最新の発掘調査の成果を、出土品等で紹介しています。さいたま市立博物館での展示(9月5日(火)～9月18日(祝))を終え、今後は下記の日程で市内を巡回します。なお、会場によって展示資料が異なります。

会場	期間	時間
イオンモール浦和美園 1階 ウイングコート	10月13日(金)～10月23日(月)	9時～22時
春野図書館 1階 ロビー	10月31日(火)～11月19日(日) (毎週月曜日休館)	火～金 9時～20時 土日祝 9時～18時
岩槻郷土資料館 2階 展示室	12月9日(土)～1月21日(日) (月曜日(1月8日は開館)、12月26日、 12月28日～1月4日、1月9日は休館)	9時～16時30分

詳しくはさいたま市の Web ページをご覧ください。文化財保護課(☎829-1724)までお問い合わせください。

さいたま市内指定無形民俗文化財の公開カレンダー(平成29年10月～平成30年1月)

天候などにより日程が変更されることもありますので、詳しくはさいたま市の Web ページをご覧ください。文化財保護課(☎829-1723)までお問い合わせください。見学無料。なお、指扇の餅搗き踊り(市指定)は、今年度は休止です。

名称	日時・場所・内容
田島の獅子舞 (市指定)	10月8日(日) ①15時～ 田島氷川社(桜区田島4-12-1) ②16時～ 四谷稻荷社(南区四谷3-7-34) 三頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
南部領辻の獅子舞 (市指定)	10月15日(日) ①13時～ ②15時～ 鷲神社(緑区大字南部領辻2914) 別名「竜頭の舞」、三頭の獅子による勇壮な獅子舞です。
岩槻の古式土俵入り (釣上地区)(国指定)	10月15日(日) 13時30分～ 釣上神社(岩槻区大字釣上220) 子どもたちが古くから伝わる土俵入りの型を披露します。
一山神社冬至祭 (市指定)	12月22日(金) 14時～ 一山神社(中央区本町東4-10-14) 一年間の穢れを祓い、新年の無病息災を願う火渡りを行います。
日進餅つき踊り (市指定)	1月1日(祝) 0時～ 日進神社(北区日進町2-1194) 年明けの鐘とともに始まる餅つき踊りです。

さいたま市文化財時報

榎りぼーと

第66号

平成29年9月28日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
☎048-829-1723 ㊚048-829-1989
<http://www.city.saitama.jp/>